

新しい NEW CROWN の約束

3つの教育目標を達成します。

英語教育を通して、確かな学力、豊かな心と、地球市民（世界市民）としての資質を備えた人間を育成するのが、NEW CROWNの使命です。その思いのもと、NEW CROWNの伝統を引き継ぎながら、3つの教育目標を設定して改訂にあたりました。

「自ら学ぶ力」を育てる

学校教育においては、集団での学習や体験の中で、自ら考え自ら学ぶことのできる人間を育成することが求められます。

特に英語という外国語の学習においては、教室における聞く・話す・読む・書くという4技能の学び合いを通して、自ら考えて学んだり応用できる力を身につけることが大切です。

生徒の発達段階や個に応じた「学び方」「わかり方」を身につけさせることで、ことばを学ぶ楽しさや喜びを与え、英語を学び続ける意欲と動機を養います。

「他とかがわかる力」を育てる

英語教育で期待されることのひとつは、多様な価値観を持つ世界のさまざまな文化や、地球環境などの諸問題に自らを関係づける力をつけることです。

他とかがわって生きていくためには、自己を確立し、他を受け入れ、尊重することのできる豊かな心を育む必要があります。

また、英語の学習を通じて視野を広げ、同時に自分の考えや自分たちの文化を外に発信していくことが大切です。

人間の生き方について考え、他とかがわかる経験を通して、地球市民の資質を培います。

「ことばを使う力」を育てる

英語教育は、ことばの教育です。現代社会においては、実生活で役に立つ英語力を身につけることが求められています。そのためには、語彙や文法を基本とする基礎学力を確実に身につけることで、英語を使うための基礎を養うことが何よりも大切です。

また、ことばの運用は、社会生活を営む上で非常に重要です。実生活に即して英語を使うさまざまな体験と、「ことば」の大切さや「ことば」の働きについて学んだり考えたりする活動を通して、豊かな英語の使い手を育成します。